

自己改革

鹿本町地区

鹿本町地区

“出向く座談会”を行う

地区役員と職員による「集落座談会」を行っています。鹿本町にある21集落を12の小部落に分け、鹿本町地区理事や鹿本町出身職員が組合員の方々から直接お話を聞き、そこで出た意見や要望について協議を重ね、JA事業に反映させています。



青年部・女性部の活動で地域に活力を!

青年部・女性部は、職員や他の組織と連携し様々な活動を行っています。

青年部は、山鹿市商工会青年部鹿本町支部や鹿本町出身の若手市役所職員と「鹿本町青年連絡協議会」を結成し、活動を行っています。主な活動として、地域の子供たちと行う食育体験、高齢者や体の不自由な方へ温泉を届ける「温泉宅配」、鹿本町で開催される「かもと招魂祭」に参加・参画しています。



▲温泉宅配



▲食育体験
(イチゴ収穫、ジャム・アイス作り)



▲「かもと招魂祭」で焼き鳥屋を出店

女性部では、鹿本町にある3小学校で、家の光やちやぐりんの本を用いた読み聞かせを行っています。昨年4月から活動を始め、子供たちに農業について知ってもらえる良い機会となっています。この他、女性部で構成される「助け合いの会」で、地域密着型通所介護事業所「夢さくら」の農園で行う野菜や花苗の定植活動や、高齢者を訪問し元気な様子を確認して回る活動を行っています。



▲夢さくら農園



▲3小学校で読み聞かせ

※規制改革会議とは▷
内閣府の諮問機関。
委員14名で構成されている

今日における政府・規制改革推進会議※の動向は、JAの総合事業を否定したり、准組合員の事業利用を制限するなど、農協解体ともいえる政府が求める「農協改革」を推し進めようとしています。この事に対し、私たちJA鹿本は、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」を目指して自己改革に取り組んでいます。

今回は鹿本町支所の取り組みを紹介します。

次回からの取り組み

鹿本町地区では、JAが組合員や地域にとってより身近な存在になれるよう「野菜作り教室」を計画しています。鹿本町の土地を利用した野菜の栽培を通して、支所運営委員や鹿本町出身の職員、青年部や女性部など、様々な組織を巻き込んだ組合員との交流を計画しています。正組合員の減少や准組合員の増加が目立ち始めている現状を踏まえ、特に農家以外の皆様に農業の楽しさを知ってもらうことで、JAとのつながり強化に努めていきます。



JA 職員での取り組み

年に2回、鹿本町地区出身職員でボランティア活動に取り組んでいます。地域のゴミ拾いや草刈りを行っています。



また、地区で行われるイベントや青年部・女性部の積極的な活動を紹介する地区だより「いちご通信」を定期的に発行しています。第3土曜日のふれあいデーに本誌「かもと」と一緒にお届けしています。



▲ボランティア活動

**JA鹿本は各事業を通じ、
創造的自己改革の実現に向けて取り組みます!** 次月号に続く▶▶▶